

平成 24 年 7 月 19 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 24 年 7 月 19 日 (木曜日)
午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分まで

2 場 所 まちなかキャンパス 501 会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 中村 美和
委 員 青柳 由美子 教育長 加藤 孝博

4 欠席委員

委 員 羽賀 友信

5 職務のため出席した者

教育部長	佐藤 伸吉	子育て支援部長	矢沢 康子
教育総務課長	若月 和浩	教育施設課長	安部 和則
学務課長	近藤 知彦	学校教育課長	田中 仁
子ども家庭課長	佐藤 正高	保育課長	栗林 洋子
中央公民館長	武樋 正隆	中央図書館長	品田 満
科学博物館長補佐	村上 昭夫	学校教育課主幹兼管理指導主事	関谷 祐二
学校教育課主幹兼管理指導主事	山田 修	スポーツ振興課長補佐	風間 良平

6 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	新沢 達史	教育総務課庶務係長	水内 智恵
教育総務課庶務係	平澤 司		

7 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 48 号	平成 25 年度使用教科用図書の採択について

8 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 7 月定例会を開会する。羽賀委員より本日は都合により欠席する旨の通知があったので報告する。よって、本日の委員の出席は 4 名である。会議規則第 6 条に規定されている過半数の出席を満たしているので、本会議が成立していることを報告する。

日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、中村委員及び加藤委員を指名する。

日程第 2 議案第 48 号 平成 25 年度使用教科用図書の採択について

(大橋委員長) 日程第 2 議案第 48 号 平成 25 年度使用教科用図書の採択についてを議題とする。事務局の説明を求める。

(関谷学校教育課主管兼管理指導主事) 平成 25 年度使用教科用図書の採択について、小学校及び中学校で使用する教科用図書は、採択替えを行った年度の翌年度から原則として 4 年間、同一のものを採択するように政令で示されている。これまで、小学校教科用図書は平成 22 年度に、中学校教科用図書は平成 23 年度に採択替えを行った。よって、平成 25 年度使用の教科用図書は、小学校、中学校ともに、今年度使用しているものと同じのものを採択することとしたい。次に、学校教育法附則第 9 条に規定されている、特別支援学校及び学級用の一般図書についてであるが、各学校の児童生徒の実態に即して毎年度採択替えができることになっている。平成

25 年度使用の一般図書は、各学校長の願いを尊重し、資料に示すとおり採択をお願いしたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 現在使用している教科用図書について、学校現場からどのような意見が出ているか聞かせてほしい。

(関谷学校教育課主管兼管理指導主事) 今のところ、取り立てて問題があるとか、極めて効果が高いという意見は聞いていない。教育委員会としては、教科書を教えるのではなく、教科書で教えるという気持ちを先生方に持ってもらい、自信をもって指導してほしいと伝えている。

(大橋委員長) 一般図書の市民への閲覧は行っているか。

(関谷学校教育課主管兼管理指導主事) 毎年一週間ほど巡回閲覧を実施しており、今年度も長岡聾学校を会場に実施した。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告事項に入る。報告事項として、平成 23 年度麻しん予防接種の実施結果について、事務局の説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長) 麻しん予防接種は、平成 20 年度から 5 年計画で、麻しん予防接種の接種率を上げるための国の計画に基づいて実施してきた。今年度が最終年度となる。この度、平成 23 年度の状況がまとまったので報告する。長岡市の接種率は、国が定める目標の 95%を高校 3 年生相当で達成できなかったが、他の年齢段階では達成した。県内他市町村の状況は、20 市の中では高校 3 年生相当で 95%を達成しているところはなかったが、町村では 6 町村あった。全国 47 都道府県の比較では、平成 22 年度のデータであるが、新潟県は全国 2 位の接種率であった。

全体的に新潟県は接種率の高い状況であるため、今後とも接種率向上に努めたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(青柳委員) 各医院に出向いて接種を受けなければならないことと、原則、保護者同伴でなければならないことが、接種率 95%に達しない原因ではないか。

(佐藤子ども家庭課長) 高校 3 年生は大学受験があるなど、様々な理由で接種率が伸び悩んでいると考えられる。受験が終わってから接種するとなると、年度末の繁忙期と重なるため、先送りになることがあるのではないかと考えている。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、ラジオ体操開催事業について、事務局の説明を求める。

(風間スポーツ振興課長補佐) ラジオ体操開催事業の目的は、すべての世代に親しみあるラジオ体操・みんなの体操会を本市で開催することにより、生涯スポーツに対する関心を高めてもらうとともに、約 1,500 人が、新しく誕生したアオーレ長岡のナカドマに集まることで、市民の一体感の醸成を図ることにある。事業の詳細としては、NHKラジオ第一「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」の生放送である。開催日時は 8 月 30 日午前 6 時から、放送時間としては午前 6 時 30 分から 40 分までの 10 分程度である。講師は多胡 肇氏を予定している。当日はより多くの人に利用していただくため、幸町の旧市役所及び陸上競技場の駐車場からシャトルバスの運行を予定している。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 資料に記載されているバスの賃借料は、シャトルバスの運行のためのものか。それとも動員する職員の移動用のものか。

(風間スポーツ振興課長補佐) シャトルバスの賃借料である。なお、市内小学校等に既に案内を出しており、シャトルバスも利用してほしい旨伝えてある。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、附属機関会議報告について、事務局の説明を求める。

(品田中央図書館長) 平成24年度 第1回長岡市栃尾美術館協議会で出された委員からの意見、感想について主なものを報告する。まず、昨年度の事業報告についてである。魅力的な内容の展示や講座を開催すれば、遠方や道路状況などが悪くても来館者が増えると思う。女性職員が多く、職員の人数は少ないが、比較的、充実した事業内容を行っているという評価であった。次に、今年度の事業計画についてである。「ふるさととこどもたち展」に関して、作品点数を増やすことに対しては協力するので、展示方法にもう一工夫ほしい。栃倉遺跡を紹介するのは非常によい企画である。地元の画家で、人物画や風景画を描いている若井宣雄氏の展示会を9月に予定している。事務局として、河井継之助、山本五十六、松岡譲などの肖像画も展示予定である。最後に、今後の美術館運営のあり方についてである。現在、栃尾美術館には常設展示室がないが、長期的視野で常設展示室の設置を検討してはどうかとのことであった。このことについて事務局としては、施設が狭いため、企画展と所蔵展を交互に行い、所蔵品の公開を行っている。また、アオーレ長岡に展示された与板にゆかりのある3人の日本画家、大矢 紀氏、三輪 晃久氏、大矢 十四彦氏の作品が栃尾美術館に収蔵されているので、展示を検討していきたいと回答した。

(村上科学博物館長補佐) 平成24年度 第1回長岡市水族博物館協議会について報告する。まず、報告事項として、平成24年度事業実施状況及び6月末までの入館者数について報告があった。6月末日時点の入館者数は31,149人で、対前年比9.8%増、人数にすると約2,800人増加した。次に、協議事項として、正、副委員長の互選についてと水族博物館整備事業の計画についてである。互選については、正、副委員長とも2年の任期満了のため互選が行われた。水族博物館整備事業の計画については、オープンして25年が経過し老朽化が進んでいることから、平成25年度以降の改修計画について意見が出された。最後に、委員の方から出された主な意見、質問について事務局として回答した。現在実施している熱中！感動！夢づくり教育推進事業の課題は何かとの質問に対し、親子わくわく魚ランド事業に参加できる定員が1回で10組程度と少ないことや、バスですいぞくかんどキドキ体験に参加する小学校との日程調整及びバスの運行スケジュールの調整が難しいことなどについて回答した。スポット解説は職員の育成にも役立っているのかとの質問に

対し、職員が来館者に直接声をかけ、飼育生物について 10 分程度解説するスポット解説は、職員が積極的に勉強する良い機会となっており、育成に非常に役立っていると回答した。今回の協議会委員に出雲崎小学校の P T A 会長がいらっしゃる関係で、出雲崎町との広域的な観光での協力、連携は可能かとの質問があった。合併前の寺泊町の頃から、地元観光協会や J A F 等と連携してきた実績があるので、十分可能であると回答した。

(風間スポーツ振興課長補佐) 平成 24 年度 第 1 回長岡市スポーツ推進審議会について報告する。委員の出席は、学識経験者 3 名、団体推薦 5 名、地域推薦 10 名、一般公募 2 名の計 20 名のところ 17 名が出席した。報告事項として、平成 24 年度長岡市スポーツ振興事業、平成 24 年度公益財団法人長岡市スポーツ協会事業、平成 24 年度スポーツに関する事務に係る補助金・負担金の交付について報告した。意見交換では、前段の報告事項や最近気にかかることなどを話しながら、任期内の今後の会議において、審議会としてどういうことを話し合っていくべきか意見をいただいた。新任の委員が 6 人だったため質問が多く時間が足りなかったが、委員長より、子どもの育成と同時に指導者の育成も大事であること、スポーツを通して子どもたちが元気になり、優秀な選手が出てきてくれる形を作ることが、我々の仕事だと思うという前向きな意見をいただいた。今後の活動の方向性として、この 2 点を中心に活動していくことになった。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(青柳委員) 中央図書館長に伺いたい。栃尾美術館は女性職員が多いとのことだが、現場の状況としてはどうか。

(品田中央図書館長) 男性職員は施設管理をしている職員のみで、他はすべて女性職員である。公共施設としてセキュリティー面で若干の不安があるが、よくやっているとの意見が出ている。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、「ダウン症の書家 金澤翔子祈りの揮毫」について、事務局の説明を求める。

(品田中央図書館長) 金澤氏の書作展を、9月22日から10月14日までの日程で、中央図書館美術センターを会場にして開催する。8月2日のアオーレ長岡での揮毫はそのプレイベントである。このイベントは、金澤氏ご本人、お母様、関係者の方を長岡まつりに招待したことから実現した。障害者関係団体、市内の書家団体などを招待する予定である。なお、金澤氏はNHK大河ドラマ「平清盛」の題字を手がけた方である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、「プチフェアブル 熊田千佳慕の世界展」について説明を求める。

(品田中央図書館長) 7月20日から9月6日までの日程で栃尾美術館を会場に開催する今年度の目玉企画である。この作品展では科学博物館とコラボレーションし、山屋科学博物館長のギャラリートークを3回予定している。「絵本原画にみる虫の世界」と題して、館長が力をこめて準備されているのでご期待いただきたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。

(大橋委員長) 他に協議報告はないか。これをもって協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

(大橋委員長) 本日は、定例会の前に南中学校、大島中学校を訪問した。委員の皆さんの意見、感想はいかがか。

(青柳委員) 南中学校は植物を通じて生きる喜びを感じる教育を行っており、花いっぱいコンクールで優秀賞を受賞した実績がある。また、地域の方々との交流を大切にしている学校である。古い校舎だが掃除が行き届いており、気持ちのよい学校である。各学年で劇を上演するのが特色で、学区の小学校が観劇することで小中連携を図っている。先生方に活気があり、指導方針は情熱であるとのこと。先生方の情熱が生徒にも伝わっていると感じた。

(大橋委員長) 南中学校の特色として劇を上演していて、このことが、生徒や学校を育てている。学力向上と総合的な学習のバランスについて、どのような工夫をしているか学年主任に伺ったところ、二兎追ったら二兎とも得るという情熱をもって取り組むように指導しているとのことだった。先生方の情熱は生徒にきちんと伝わり、信頼関係が出来上がっているという印象を受けた。

(中村委員) 大島中学校はノーチャイムで授業をしている。これは平成 22 年度に生徒の発案で実施して現在に至っている。大島小学校の児童がそのまま大島中学校に進学しており、どのように小中連携を図っているのか伺ったところ、「大島小中のかげはし」という冊子を通じて連携しているとのこと。大変良い冊子なので、全市立学校で活用しても良いのではないかと思った。

(加藤教育長) 大島中学校は生徒が約 300 人程度のちょうど良い規模の学校である。明日から夏休みであるが、落ち着いた授業風景で子どもたちは安定していた。伝統ある地区の良い面が出ている。商業施設と住宅の密集地にある学校だが、生徒指導をきちんと行って安心した。校舎内は綺麗で落ち着いた感じを受ける良い学校である。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員